

新たな豊浦の味ができました 「Ribbon 北海道いちごソーダ」全国発売

豊浦いちごを使用した「Ribbon 北海道いちごソーダ」が11月20日より全国発売され、ポッカサッポロ北海道の山本社長が11月13日に役場を訪れました。

商品のラベルには“北海道豊浦”の文字があり、山本社長は「分けてもらった貴重ないちごでできました。多くの人に飲んでもらいたい。」村井町長は、「この商品をきっかけに豊浦町の名前を知っていただければ」と話していました。いちごの甘い香りと爽やかな甘みが特徴のソーダをぜひ、ご賞味ください。1本140円(税別)



▲いちごソーダを手に、笑顔の村井町長と山本社長(右)

きらめく文化を未来へつなぐ 第68回豊浦町総合文化祭

11月4日、5日の2日間、地域交流センター「とわにー」にて豊浦町総合文化祭が開催されました。

書道や絵画などの作品発表や豊浦中学校吹奏楽部の演奏、シュタイナー学園いずみの学校の合奏、日本舞踊などの芸能発表など、それぞれの団体で日頃から活動している成果が大いに表れていました。

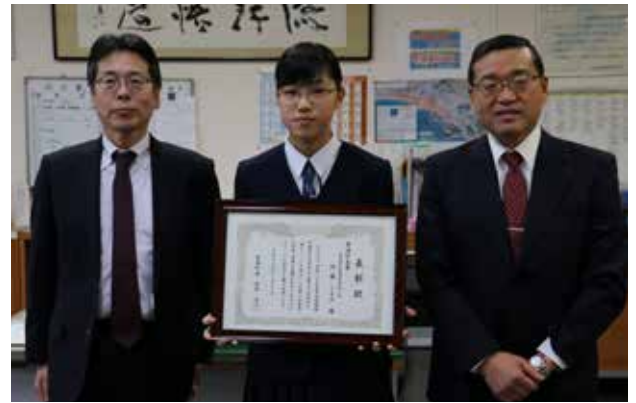
実行委員代表の横田挺一さんは「きらめく文化を未来へつなぐスローガンの元、年一度の豊浦ならではの文化祭を楽しんでいただければ」とあいさつし、会場に訪れた多くの方が「とようらの文化の祭典」を楽しんでいました。



▲豊浦習字教室の作品

「税についての作文」表彰式

門脇くるみさんが、豊浦町長賞を受賞



▲賞状を受け取る門脇くるみさん

11月16日、豊浦中学校で中学生の「税についての作文」表彰式が行われました。

今年度は、管内中学校から168編の応募があり、厳正な審査の結果、門脇くるみさん(3年)の「消費税」が豊浦町長賞に選ばれました。

また、豊浦中学校に税の作文募集を通じて広く納税意識の高揚に寄与されたことに対し、全国納税貯蓄組合連合会長より、感謝状が贈られました。

この度の受賞、おめでとうございます。



▲弦楽器によるいずみの学校生徒の合奏



▲会場に美声が響くコールウェンズによるコーラス